

活動方針の具現化に向けて全国大会の決定事項を申し入れ

第84回定期全国大会で決定された第79年度活動方針に基づく申し入れを、松浦満晴組合長はじめ、関係する各部門の職場委員が同行して行った。自由民主党への申し入れでは、名誉政治参与の衛藤征士郎衆議院議員にご同行いただき、各政党への申し入れには酒井智代子全国海友婦人会会長が同行した。

-主な申し入れ事項-

★組合から 各部門で直面する問題について要望

- ◇船員の確保・育成の推進と船員の地位向上 ◇舶用燃料補助政策への取り組み
- ◇船員養成教育機関の維持・定員拡大などに必要な予算の確保 ◇情報通信インフラの整備
- ◇海に親しむ活動の取り組み推進 ◇船員税制（政策減税）◇フェリー・旅客船の維持・存続
- ◇新型コロナウイルス感染症に関わる新薬開発と船内備置
- ◇海洋調査船の老朽化とその代替船建造に向けた技術継承
- ◇「海の日」の7月20日への固定化

★酒井智代子全国海友婦人会会長から

- ◇「海の日」の7月20日への固定化など家族の立場を代表して意見を述べた

■自由民主党

ご同行いただいた衛藤征士郎名誉政治参与からは情報通信インフラの整備と「海の日」の7月20日への固定化を要請した。

-ご対応- 坂本哲志副幹事長

船員養成教育機関の維持・定員拡大に関し、養成機関と連携して取り組んでいきたい。船員の地位向上と処遇の担保の重要性は理解しており、情報通信インフラの整備も含め関係省庁に対し、政策ならびに予算措置も含めてしっかり訴えてまいりたい。

■立憲民主党

-ご対応-

逢坂誠二代表代行

いただいた意見を、重点的・優先的にしっかり取り組んでまいりたいと述べた。

城井崇衆議院議員

情報通信インフラ（低軌道衛星を利用した衛星通信サービス）に関し、利用料金の一部助成などを求めているほか、領海内での利用に限られている問題の解消に向け、政府が他国の使用周波数の調査を行っている。

「海員だより」